

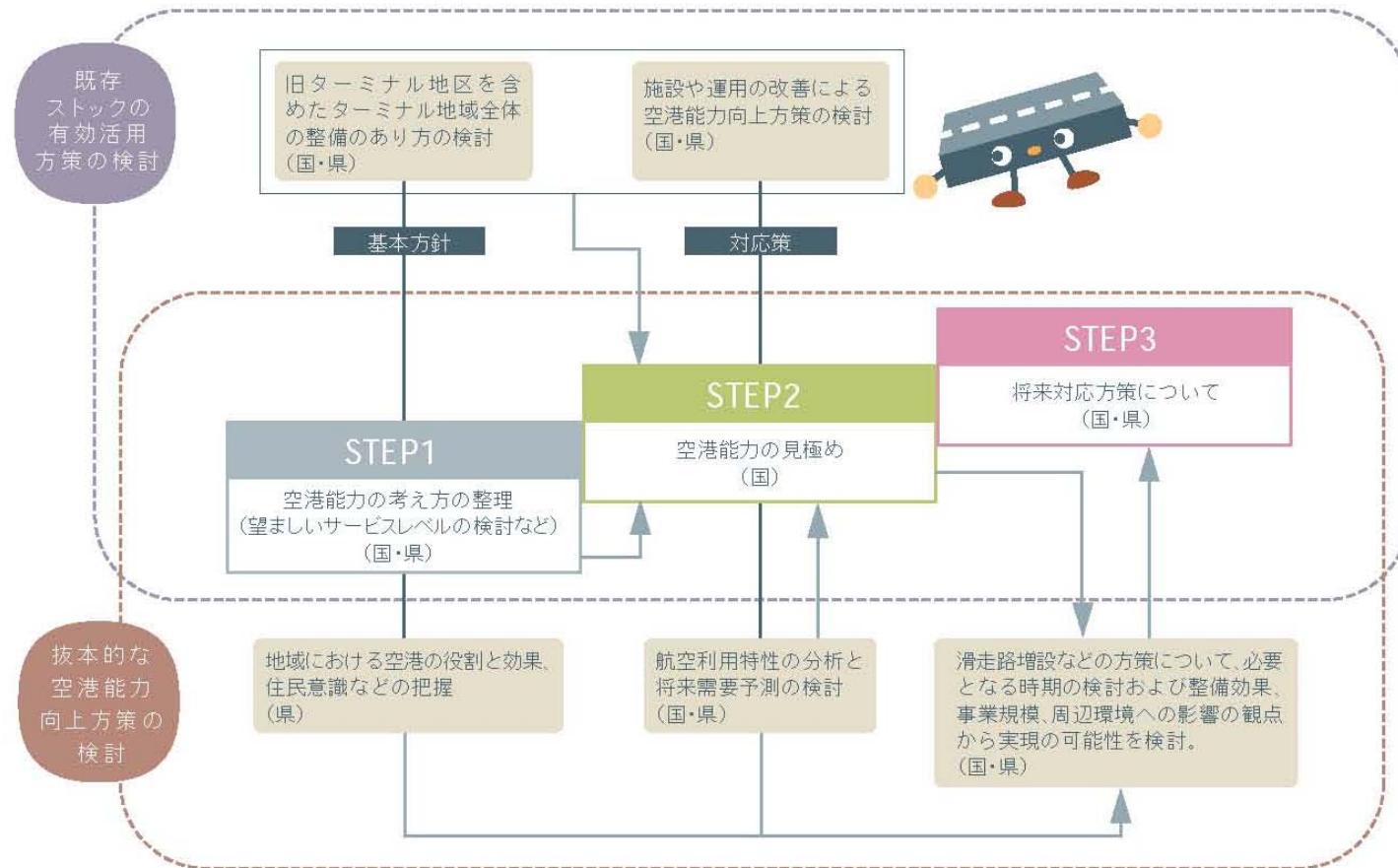
総合的な調査のとりまとめ

平成20年 9月22日
内閣府 沖縄総合事務局

1. 総合的な調査の進め方

★ 総合的な調査のフローおよびPIのステップ

交通政策審議会の答申を受けて、国と沖縄県では平成15年から平成19年にかけてパブリック・インボルブメント(PI)の手法を取り入れながら総合的な調査を実施。

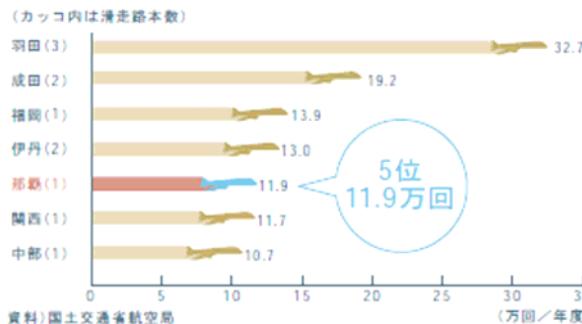


※PIの実施にあたっては透明性・公平性を確保するため、第三者機関である「那覇空港調査PI評価委員会」を設置し、評価・助言をいただきながら進めた。

2. 那覇空港の現状と課題

- ・滑走路1本の空港としての利用度の高さは国内2番目。
- ・観光客を中心に旅客は年々増加しており、貨物輸送においても生活物資の輸送や、県産農水産物の出荷等、様々な形で利用され、那覇空港への依存度が年々高まっている。
- ・また、那覇空港では、夏場の観光シーズンや年末年始などを中心に、希望する便の予約が取れず、沖縄への訪問を取りやめる人もおり、県経済に影響が生じている。また、便の発着が多い時間帯には、滑走路手前や誘導路での待機などにより出発や到着に遅れが生じている。

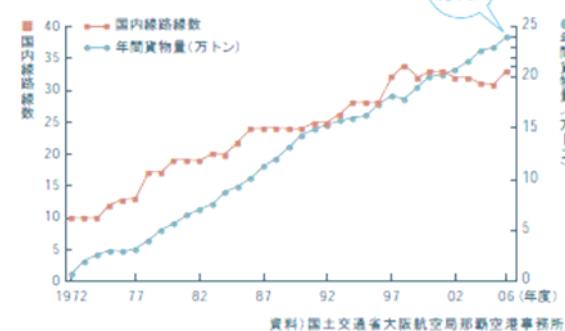
● 年間発着回数ランキング(2006年度)



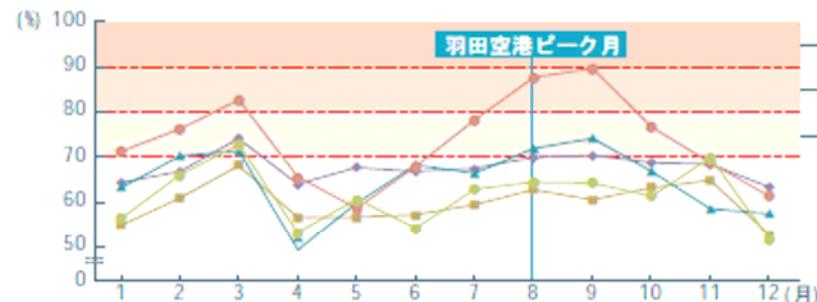
● 国内線路線数と旅客数の推移



● 国内線路線数と貨物量の推移



● 年間旅客200万人以上の主要空港



● 月平均の座席利用率と予約の取りやすさの関係

(航空会社ヒアリングによる)

90%以上 利用者から苦情が出る。

80%以上 特定の日、時間帯で予約が取れない状況になる。

70%以上 予約が取れないという利用者の反応が出る。

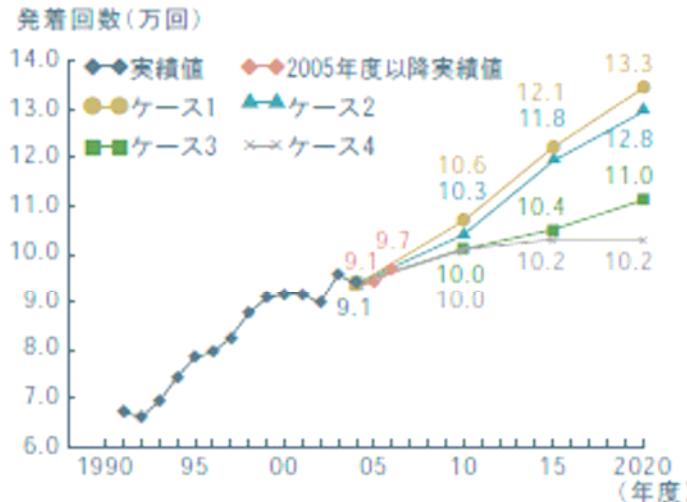
◆ 大阪伊丹 ■ 福岡 ▲ 新千歳 ● 鹿児島 ● 那覇

3. 総合的な調査の結果概要

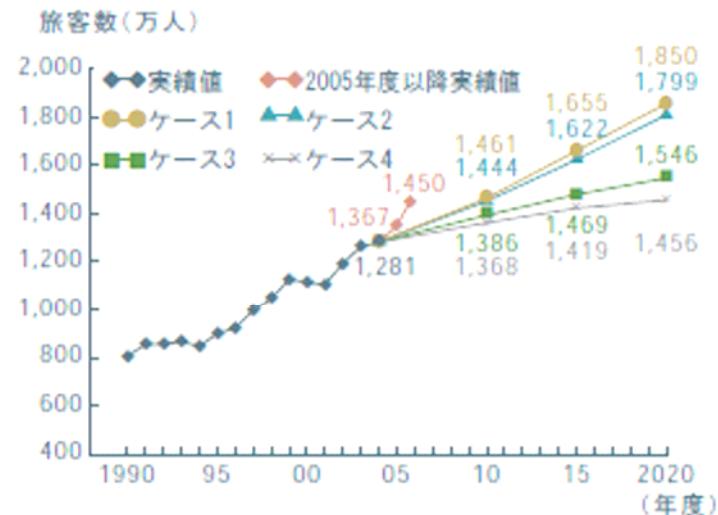
(1) 那覇空港の将来の需要予測

予測の結果、航空需要は今後とも増大を続け、航空旅客数は、2015年度では、2004年度の1.1～1.3倍になるとの結果が得られた。

●発着回数(国内線+国際線)



●旅客数(国内線+国際線)



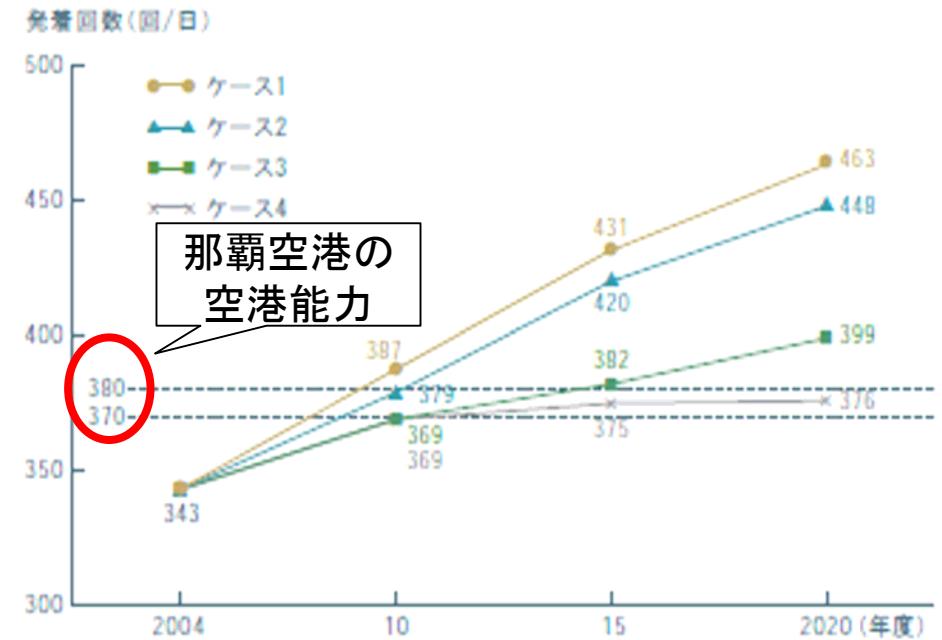
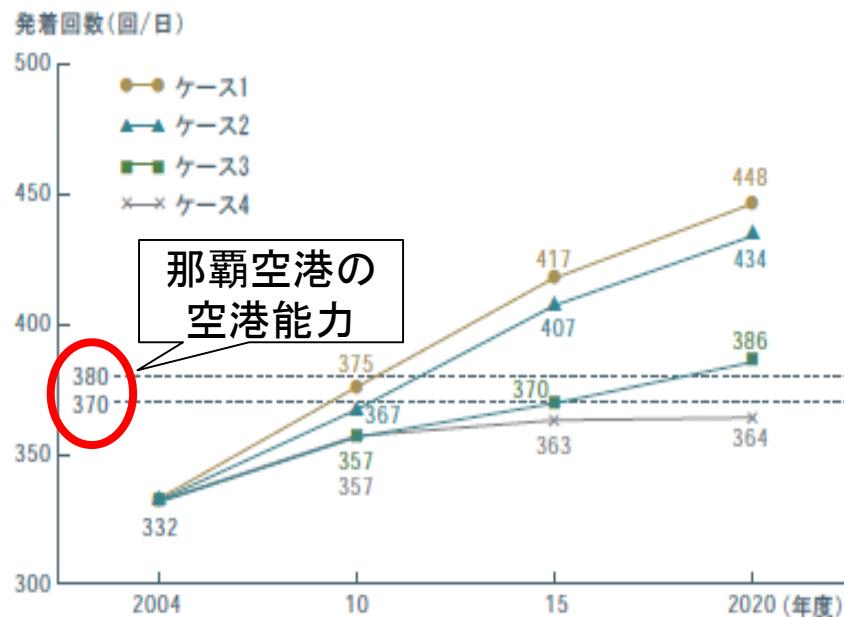
●需要予測における社会経済等指標の組み合わせ

ケース区分	将来人口*1		将来の経済成長*2		将来の航空路線網	
	全国	沖縄	全国GDP	沖縄GRP	国内線	国際線
ケース1	高位ケース	高位ケース		沖縄振興ケース	現状路線+百里・静岡*3	現状路線
ケース2	中位ケース	中位ケース		経済進展ケース		
ケース3				経済停滞ケース	現状路線	現状路線
ケース4	低位ケース	低位ケース		リスクケース		上海・台湾乗継需要なし*4

3. 総合的な調査の結果概要

(2) 日発着回数と空港能力

2010～2015年頃には夏期を中心に、航空旅客需要の増加に対応できなくなるおそれがあることが分かった。



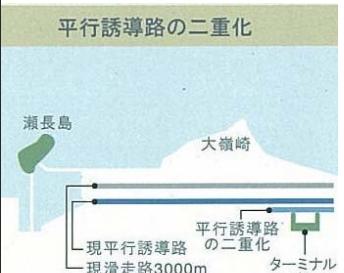
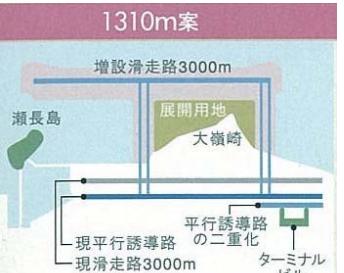
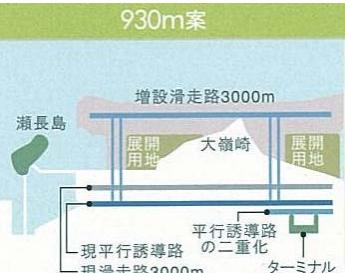
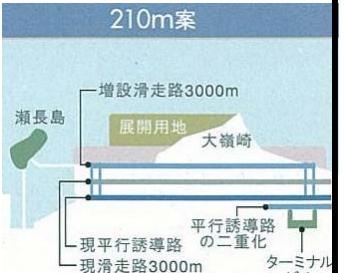
● 年平均日発着回数と空港能力

3. 総合的な調査の結果概要

(3) 将来対応方策案の内容（各案の比較）

将来対応方策として、滑走路増設等について検討を行った。

<整備効果・事業規模の視点>

		平行誘導路の二重化	1310m案	930m案	210m案
					
ピーク時発着可能回数	33回	34回	55回	55回	42回
空港能力 (日発着回数)	370~380回	380~390回	600~620回	600~620回	470~480回
概算事業費	---	50億円	2, 400億円	2, 500億円	1, 300億円
概算工期	---	3年	10年	10年	7年
埋立規模	---	0ha	220ha	200ha	90ha

※上記以外の評価の視点：経済効果、利便性（地上走行距離）

※総合的な調査段階では、発着可能回数及び空港能力については、飛行経路の確保ができるものとして算出。

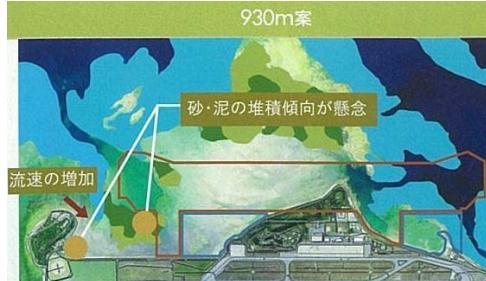
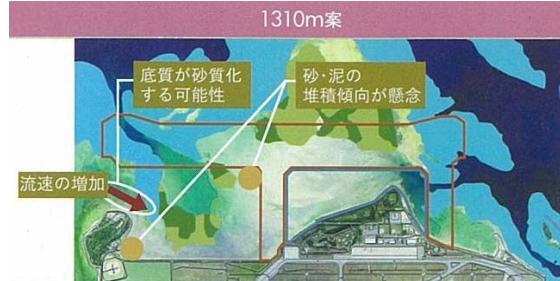
3. 総合的な調査の結果概要

(3) 将来対応方策案の内容（各案の比較）

<周辺環境への影響の視点>

サンゴ被度と藻場被度

○ 滑走路増設案
□ 展開用地
サンゴ被度
■ 10%未満
■ 10~30%未満
■ 30~50%未満
藻場被度
■ 10%未満
■ 10~30%未満

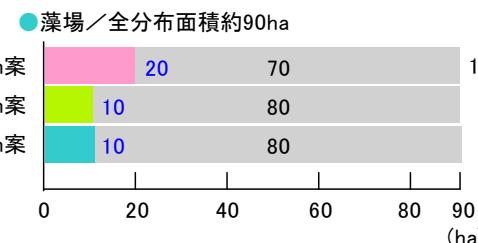
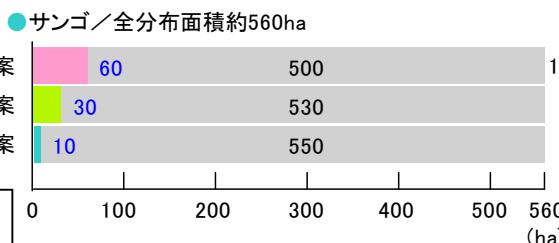


海域消失面積

より沖合に滑走路を増設すれば、サンゴや藻場、干潟への影響が比較的大きくなります。

瀬長島、大嶺崎周辺区域、周辺干潟域への影響

○ 滑走路増設案
□ 展開用地
○ 増設滑走路配置により直接的影響を受ける範囲



※上記以外の評価の視点：航空機騒音、水環境、生物、社会的環境
(人と自然とのふれあい活動、歴史的・文化的環境)

3. 総合的な調査の結果概要

(4) PI活動内容および結果

調査結果については、PIを通じて県民等への情報提供及び意見収集を実施。段階を経るごとに多くの方々にPIに参加していただいた。

STEP1	STEP2	STEP3	
ステップ1 平成17年度実施済み <ul style="list-style-type: none">●現在の那覇空港には、どんな課題があるの？●那覇空港はどんな役割を担っているの？●効果と影響はどうなの？●那覇空港のあるべき姿って何？ <p>などについて、検討しました。</p>	ステップ2 平成18年度実施済み <ul style="list-style-type: none">●今後、どのくらい旅客者数=需要があるの？●今の空港で(機能・規模など)充分なの？●既存ストックで活用できるところはないの？ <p>などについて、検討しました。</p>	ステップ3 平成19年度実施済み <ul style="list-style-type: none">●将来に向け、那覇空港をより良くするには、どういった方法、解決策jが考えられるの？●それぞれの対応策における欠点や利点は？●対応策を実施しないとどうなるの？ <p>環境、工事費用、対策が実施された場合の効果など、各対応策について、様々な視点で可能性を検討しました。</p>	
PIステップの目標	ステップ1 那覇空港に関する課題、将来像等について県民等との情報共有を図る	ステップ2 将来の航空需要予測、空港能力の見極め等について県民等との情報共有を図る	ステップ3 滑走路増設を含む将来対応方策等について県民等との情報共有を図る
情報提供及び意見収集期間	平成17年8月1日～9月30日 (2ヶ月間)	平成18年8月1日～10月31日 (3ヶ月間)	平成19年8月29日～10月29日 (2ヶ月間)
PI実施内容	説明会・懇談会	7回	8回
	パネル展	4箇所・延べ72日	3箇所・延べ103日
	オープンハウス	6箇所・延べ35日	6箇所・延べ46日
	シンポジウム	—	1回
	空港見学会	1回	1回
PI実施結果	PIへの参加人数	977人	2,205人
	アンケート回収数	998件	1,337件
	意見を寄せた方	499人	982人
	意見総数	697件	2,404件
PIの終了	平成17年11月16日	平成18年12月4日	
		平成19年12月19日	

3. 総合的な調査の結果概要

(5) P I ステップ3実施結果

ステップ3では将来対応方策に関する意見が全体の約87%を占め、滑走路増設等将来対応方策の実施を求める肯定的な意見が多数寄せられた。

また、肯定的な意見の中には、自然環境への影響低減を求める意見や工期短縮を求める意見も多数寄せられた。

※ P I ステップ3で寄せられた意見の概要

		ご意見の内容	意見数	
ステップ3で寄せられたご意見の概要	ステップ3に関するご意見	将来対応方策に肯定的なご意見 13,433 64.1%	1 将来対応方策、滑走路増設が必要とするご意見・理由 2 滑走路増設に当たって重視、配慮すべき点等があるとするご意見 3 滑走路増設案に対するご意見 4 別の案、その他の方策が良いとするご意見 5 平行誘導路の二重化に対するご意見 6 その他のご意見	5,440 26.0% 5,236 25.0% 2,264 10.8% 36 0.2% 73 0.3% 384 1.8%
		将来方策に否定的なご意見 1,790 8.5%	7 将来対応方策、滑走路増設は不要とするご意見・理由 8 別の案、その他の方策が良いとするご意見 9 その他のご意見	1,506 7.2% 158 0.8% 126 0.6%
		将来方策に慎重なご意見 2,522 12.0%	10 滑走路増設に慎重なご意見 11 今後の検討・進め方に関するご意見 12 その他のご意見	1,758 8.4% 592 2.8% 172 0.8%
		将来方策に慎重なご意見 449 2.1%	13 その他のご意見	449 2.1%
		P I の取り組みに関するご意見 756 3.6%	14 調査報告書に関するご意見 15 P I の進め方に関するご意見 16 P I に関するご意見	290 1.4% 404 1.9% 62 0.3%
		那覇空港の現状・課題等に関するご意見 820 3.9%	17 旅客ターミナルに関するご意見 18 貨物ターミナル地区に関するご意見 19 ターミナル地域の将来整備に関するご意見 20 その他利便性向上に関するご意見 21 環境問題に関するご意見 22 その他のご意見	298 1.4% 16 0.1% 29 0.1% 394 1.9% 12 0.1% 71 0.3%
	ステップ3で寄せられたご意見のステップ1	航空路線網に関するご意見 64 0.3%	23 航空路線網に関するご意見	64 0.3%
		自衛隊に関するご意見 279 1.3%	24 自衛隊との共同利用等に関するご意見	279 1.3%
	その他のご意見 838 4.0%	25 その他のご意見		838 4.0%
	合計			20,951 100.0%

3. 総合的な調査の結果概要

(6) 総合的な調査のまとめ

これらの調査結果を踏まえ、平成20年1月31日那覇空港調査連絡調整会議において、那覇空港については、今後具体的な将来対応方策について検討を進めることが適當との結論が得られ、国土交通省航空局の「一般空港の滑走路新設または延長事業に係る整備指針(案)」に規定する「構想段階」への移行が示された。